

会報 第9号

発行

NPO法人 豊齡研ITサロン会津
福島県会津若松市柳原町1-2-34
(郵便番号965-0857)
編集・印刷・長谷川友仁

人生を楽しく生きる

わいわい21

http://www.aizu.gr.jp

特定非営利活動法人 豊齡研ITサロン会津
私たちは私たちの暮らす福島県会津の地における高齢者のために、情報通信技術などに関する支援をすすめて、企業や行政とのパートナーシップの形成により、福祉の向上と地域社会の発展に寄与することを目的として様々な活動を行っています。NPO活動法人です。趣旨に賛同して頂ける方のご支援をお願いいたします。

速く打たないで



特別会員 渡辺紀士

タッチタイピング。このキーボードを見ないで文字を入力する技を習得するのに5年余りかかった。

仕事上、文章をある程度速く書くために少しは熱を入れて練習に励んだ。他人(ひと)は一日でマスターするといふから、いかに不器用かを証明しているようなものだ。タッチタイピングが少々できるからといってパソコンの多種多様な機能の操作はほとんどできない。高価な農機具を1年間に3日から4日しか稼働しないのに似ている。

付記すれば、タッチタイピングは「かにも仕事をしているように他人には映るとの法則を持つことか」としてアルファベットの文字のタイプライターは、1874明治6年にアメリカのシムソン社によって開発された。日本語用は1915(大正4)年。文字の並び方でシムソン社が最も重要に考えたのは「キーを速く打たないよう」にするということだ。

どうしてか。開発初期のころのタイプライターの中の機構は複雑であり速くキーをたたくとタイプライターが壊れるケースが多かったためだ。

その解決策の一つとして英語でよく使われる「F」「R」「T」などは一番使用しにくい左側上段に配置された。

キーボードを眺めれば確かに「Q」「W」「E」「R」が「速く打て見よ」と天は告げている。「S」「O」「V」「E」「R」「T」「A」「W」「I」「T」(配列と呼称され、100年以上もキーボード界に君臨しているのは「QWERTY」の見本だ。

中央公民館まじり

8月31日、第5回中央公民館まじりに参加し、日頃の学びの一端を発表するとともに、ITの体験をとおして多くの市民に豊齡研ITサロン会津の活動を広

く認知してもらいたいと願っています。数日前から、写真や資料の展示、飾りつけなどの準備、事前研修などをしてきました。当日は昨年引き続き大勢の方々が豊齡研のコーナーに来て、展示物を見たり、カメラ作りやインターネットの体験をされました。

ITに対する関心は老若男女を問わず高く、豊齡研の活動が特に高齢者に対して今後益々大事になって来ます。それらの方々に少しでもお手伝いできたいと思います。



何人かの方々に中央公民館まじりについて感想を寄せてもらいました。参加してよ

そうか道理で私の原稿はいつも3か多いのはこのクワイティ配列のせいなのだ。私の指が不器用なのではないと信じたい。ところがこれまでにミスはミスに流して来た。

ツタンカーメンのえんどう豆



副代表理事 星野重道

七月上旬、市内の小学校を訪問した時のことである。ツタンカーメンのえんどうが植えられていたのを見てもらって、何の変哲もない普通のえんどうがどうなるかを伸ばして見た。

帰り道、園芸療法研究会で知り合った東京都「中延特別養護老人ホーム」の職員から頂いたツタンカーメンのえんどう豆(注1、注2を思い出した。一昨年の古い種、時期も7月中旬、発芽するかどうか不安で



あつた。プランター4粒時いた。肥料や水管理には気を配った。天候不順にもかかわらず全部発芽し、約2ヶ月後、ワイシャツの美しい花が咲いた。感激！感激！……。

反響の大きさとロマンと感動を共有できた喜びを味わった。インターネットで検索する楽しさ、面白さ、情報を発信する喜びを感じている今日この頃です。いかに自分もホームページを開設してみたいと思っています。注1「ツタンカーメンのえんどう豆」注2「ツタンカーメン」

ツタンカーメンは、今から3500年ほど前のエジプトの土に生え、18歳の若さで亡くなった。それから歳月が流れて、1922年、英国の考古学者ハーロッド、カーボーン卿は、王家の谷でツタンカーメンの墓を発見した。中から黄金のマスクなど2千点をこえる副葬品がでた。その中には「えんどう豆」も発見された。それが時代を超えて生き続ける「ツタンカーメンのえんどう豆」だ。

た「新入会員の加入はPRRの成果」1階のステージ設置はよかったです。似たような感想がありましたので、その中から二人の一言を掲載します。

まじりに参加して



副代表理事 国分強

中央公民館を利用しては、48団体参加による「おまじり」に参加でき大変有意義でありました。

常日頃から公民館を利用しては、数多くの団体の取り組みについて内容を少しも知りたくて考えていた矢先、丁度良い機会に



恵まれましたので、時間をみて各階の会場を訪れ見学させてくださいました。

絵手紙 3D体操 陶芸教室 水墨画教室等主なものでしたが、特に陶芸教室の焼き物の展示は高齢者とは思えない若々しい見事な作品を見ることのできたと、係りの方の丁寧な説明もあり驚きと感動を体

験させてもらいました。また3D体操の美技にも参加させてください。体操終了後、会員として加入されるよう強く勧誘される嬉しい瞬間もありました。が、引退させていただきます。

水墨画教室には、豊齡研に所属している会員の作品も出品されており、関心をもって鑑賞させていただきました。興味を超えたレベルの高さに感動させられました。興味を多く持つことも高齢化社会に生きる私たちにとって生き甲斐であり大切なことであると考えました。

自慢、自慢中で楽しい生活



会員 高橋盛久

自分中心に興味だけの世界を毎日楽しく過ごす日々、ITの目標への達成、畑の野菜の収穫

爽快感、ITサロンの皆さんとの出会いと感動、特に今年先輩の話に感激しました。私も何時かと思いつながら努力している。一週一回のITサロンに通いつつ趣味とパソコンの合体する日を夢見て頑張りたい。「ITサロン万歳」

NPO法人豊齡研ITサロン会津 案内

わいわいやがやがや楽しながら、パソコンとインターネットにふれあう仲間のパソコン自遊楽校を毎週金曜日開催しています。

開催場所 中央公民館 または 一貫公民館
開催日 毎週金曜日(原則として月4回)

初心者コース(これからやってみようの方)
開催時間 午前9時30分から午前11時45分

ITサロンわいわいやがや自遊楽校
開催時間 午後1時30分から午後3時45分

この会は皆様の会費で運営されています。
年会費 2,000円(年途中参加月割)他、自遊楽校教材、資料、運営費負担金月2千円(月参加費は月一回でも参加頂ける方に)

この協力をいただいています。ご了承下さい。
みなさんの参加お待ちしております。

自分では上出来と思いましたが、展示コーナーには素晴らしい作品がたくさんありました。クシャクシャポテンの蕾から開花するまで順を追って写したのや周りをほかして花をひと際引き立たせたり、2枚の画像を合成して思いがけない画像を作ったり同じものを写しているのに、角度や日のあたり方で印象が違ってくるのを目のあたりに、皆さんの作品はどれも参考になりました。

展示作品をみて
ディスプレイがパワフル！カメラがきれいなカメラで撮影した作品、そのままだけの作品、印刷まで一通り出来る様になり



代表理事 長谷川友仁 090-7936-6605

副代表 国分強 (75-5089) (26-7210)
同 星野重道 (22-7473)
同 福井幸子 (27-9542)
同 小林澄子 (22-9830)
同 貝沼健次 (75-3702)
同 佐藤美雪 (75-3702)

